

The TENDAI journal

令和5(2023)年8月1日 火曜日
(毎月1日発行) 1部 50円 (消費税込・送料別)

天台ジャーナル

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 小林 祖承
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp



広報天台

比叡山宗教サミット36周年 「世界平和祈りの集い」8月4日に開催



昨年開かれた比叡山上での式典

諸宗教代表者らが平和を希求

宗教・宗派の垣根を越えて対話と祈りを通じて世界平和に献身する比叡山宗教サミット36周年「世界平和祈りの集い」が8月4日13時より、比叡山で開催される。全国から約500人の宗教者が出席する予定。「平和への道―未来へ向けて―」と題して6団体の宗教代表者より平和への決意表明が行われ、これまでの歩みを振り返り、平和に向けた取り組みが発表される。

比叡山宗教サミット「世界平和祈りの集い」は、昭和62年(1987)に開催されて以来、毎年宗教宗派を超えた宗教者が比叡山に集い、世界の恒久平和実現のために協働することを確認し、共に世界平和を希求する祈りを捧げてきた。

昨年は節目となる35周年を迎え、山上山下で記念講演や式典を挙げる。「気候変動と宗教者の責務」をテーマに宗教者が果たすべき役割について語り合い、その成果を「比叡山メッセージ2022」として世界に発信した。

この比叡山宗教サミットの「祈りの精神」を次世代に継承する取り組みとして、今年第1回の祈りの集いで実施されたプログラムを用意。教派、神道、仏教、キリスト教、神道、新宗教、イスラームの6団体の代表者がそれぞれの教義や立場

で平和への決意表明を行う。

また、これまで全ての式典は屋外で開いてきたが、本年からは屋内外2会場に亘って催す。まず延暦寺会館で開会式や6団体による祈りと決意表明、海外メッセージ披露、ユニセフへの寄託式。続いて屋外へ移動し、世界宗教者平和の祈り記念碑前にて、比叡山メッセージ朗読、平和の鐘、平和の祈り(黙祷)、主催者代表挨拶などを行う。

式典終了後は、大津市内のホテルで交歓レセプションが開かれる。

なお式典の様子は天台宗公式ホームページにて中継し全世界に向けて配信される。プログラムの詳細は左記の通り。

令和5年8月4日(金) 13:00開式

平和の式典(屋内)	
13:00	開式
13:10	平和への道―未来へ向けて―
14:00	海外メッセージ披露
14:15	ユニセフ支援金寄託式
平和の祈り(屋外)	
15:20	比叡山メッセージ朗読
15:30	平和の鐘・平和の祈り
	閉式

令和5年7月九州北部豪雨により、亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

天台宗
一隅を照らす運動総本部

極微

電車のターミナルから続く広い街路に出ると、多くの人たちとすれ違う。年若い人、男の人に女の。もちろんそれらの表情からは、なにも読み取れず、ただすれ違うだけである▼だが、考えてみると、目の前を流れていくそのすべての人たちは固有の事情を抱えて日々を生きているのだ。それは経済的な事情かも知れないし、健康上の事情や人間関係かも知れない。たとえば友達同士で笑いながら歩いているのだ。こうして人々の日常は、表面上何でもない光景として移ろい過ぎ去っていく▼昨年の自死者数が2年ぶりに増加した。40〜60代の男性や、失業者や年金生活者らの増加が目立つという。毎日見る街を流れる人々のなかにも、自死を考える方が何人かいるはずである。新型コロナウイルスが流行する前は10年連続で減り19年に約2万人となっていた。コロナ禍で千人ほど増えたままで、高止まりの状況が続いている▼物価の高騰など経済状態は、もう一つもどかしい状況であり、それに付随して困窮者が増えていることも一因であろうか。自死に関しては、久しく自死者の個人のことであり、社会全体の問題としても捉えられている。セーフティネットの更なる拡充が求められるところだ。